



提案書

越谷商工会議所

越谷サンシティ及び南越谷駅・新越谷駅周辺 にぎわいづくりに関しての提案

(要旨)

越谷サンシティ整備及び南越谷駅・新越谷駅周辺に係るにぎわい創出のための施設整備等について、地域の活性化に資する魅力あるまちづくりの推進を図るため、以下のとおり提案します。

1. 越谷サンシティ整備について

- ・南越谷・新越谷エリアのにぎわい振興の拠点とする。
- ・市民の誇りになる施設とし、地域に開かれた拠点とする。
- ・災害時等緊急事態において、地域の防災拠点となる施設とする。
- ・市民ホールは現施設が継続利用できるようレイクタウン地区内の市所有遊休地に移転する。
- ・屋内スポーツやエンタメ利用が可能な多目的ホール(5000人超収容可能な施設)を中心機能とする。
- ・現在の商業施設側には行政機能(図書室・南部出張所)を含め、全館民間活力を利用し、民設民営公借した施設を整備する。

なお、詳細については別添「サンシティ整備基本計画案」による。

2. 南越谷駅・新越谷駅周辺に係るにぎわい創出のための施設整備等

について

- ・長距離路線バス・バスツアー等の利用によるバスターミナルを整備し、市内外を含めた交流人口の増加を図る。
- ・南越谷駅北口線及び新越谷駅北通り線を早期に事業着手し、南越谷駅北口周辺の交通円滑化を図り、まちづくりを進展させる。
- ・新越谷駅西口ロータリーを再整備し、利便性の向上を図る。
- ・サンシティに至る歩道を整備し、安全で魅力あるアプローチを創出する。
- ・用途地域の見直しを行い、商業地域における建ぺい・容積率を緩和し、更なるまちづくりの進展を図る。

(説明)

越谷サンシティを含む南越谷駅・新越谷駅周辺地域において、商圈の変化等の影響により、かつてのにぎわいが減少する中、越谷市では令和2年3月に「(仮称) 南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想案」を策定し、以降、南越谷駅・新越谷駅周辺地域のにぎわいと今後のサンシティのあり方について検討が行われてきました。

その後、市民や民間事業者の意見を含めて検討を重ね、新たな越谷サンシティ整備のコンセプトが提示され、施設整備・機能、事業手法、整備スケジュール等の方向性を示した「越谷サンシティ整備基本計画」が令和3年4月

に発表されました。

この計画は、市民・関係団体・事業者など多数の方々が協力・参画して策定されたもので、越谷市を代表するシンボリックな施設が誕生することに当商工会議所を含む関係者一同大きな期待を寄せていたところです。

こうした中、令和4年5月に、コロナ禍とウクライナ戦争をはじめとした海外情勢不安により、エネルギーや建築資材等が高騰し不安定・不確定要素が多いことから、事業の1年延期が発表されました。その際、越谷市では、「越谷サンシティ整備計画」をベースに「with コロナ」に相応しい公共施設のあり方についても一層検討し、鋭意取り組むと述べています。

しかし、その1年後の令和5年5月に発表された「越谷サンシティ整備事業にかかる今後の方向性」では、従前の整備計画を踏襲することなく大きく乖離し、全面建て替えではなくホール棟については大規模改修(既存施設のリノベーション)となっていました。

我々商工会議所においても、事業の1年延期は当時の社会情勢を鑑みると理解できる部分はあったものの、その延期した1年間において具体的な検討内容が市民を含めて一切提示・周知さらには意見聴取されることなく、唐突に新たな計画が発表されたこと、また計画自体が大きく方針転換されたことに大変憂慮しております。

令和5年6月に「今後の越谷サンシティのあり方に関する方針(仮称)の決定の件」と題した市議会への請願が、8名(3会派)の紹介議員を含めて

7名の請願者から提出されたのは、至極当然であり現計画への方針転換が地方自治の本旨とは合致していないものと理解するところです。

越谷市では、越谷サンシティのみならず、今後老朽化が顕著な越谷市立病院や東埼玉資源環境組合第1工場、市立保育所等大型施設の更新が控えており、財政面でも大きな負担が生じることも十分理解します。

しかし、越谷サンシティを含めた周辺地域は市内の交通結節点の要所であり、越谷市を代表する商業集積地の顔でもあります。今後、越谷市を持続的に発展させ、次代を担う若い世代に大きな夢を与えるためには、明るい希望の持てる将来を見据えた施設整備等が極めて重要になります。

従いまして、地域の総合経済団体である越谷商工会議所は、越谷サンシティ整備及び南越谷駅・新越谷駅周辺に係るにぎわい創出のための施設整備等について、上記要旨のとおり提案します。

令和6年5月13日

越谷商工会議所 会頭 井橋 吉一

サニシティ整備基本計画案

2024年5月13日(月)

越谷商工会議所

越谷サンスティ整備に向けた私たちの思い

ビジョン(サンスティはどうあるべきか?)

越谷サンスティは越谷市の経済活動の中心的存在として、人々の交流を促進させ、賑わいの源となる施設であり、周辺圏域にも影響を与える存在となる

どのような賑わいを求めるのか?

内需(市内)だけでなく、市外、県外、海外からも積極的に人々を招き、**プロスポーツ文化**を通じて生まれる交流を通じた賑わいと、日常的に市民が利用し、子育て世代を初め、様々な世代間交流から生まれる賑わいが混在する

越谷サニシティ整備に向けた私たちの思い

ミッション(具体的条件)

- ・南越谷・新越谷エリアの賑わい振興の拠点とする
- ・市民の誇りとなる施設とし、地域に開かれた施設とする
- ・災害時等緊急事態において、地域の防災拠点となる施設とする
- ・市民ホールは継続利用が前提、レイクタウン砂利地へ移転する
- ・屋内スポーツやエンタメ利用出来る多目的大ホールを中心機能とする
- ・現在の商業施設側には行政機能(図書室、南部出張所)を含むが、全館民間活力を利用し、民設民営公借とする

越谷サンシティの新機能	
行政機能(図書室、出張所等)	
イベントホール	広場・公園
MICE・オフィス	宿泊施設(ホテル)
市内事業者中心横丁	子育て関連

イベントホールは5000人超規模の多目的大ホールとし、ここを中心とした「複合施設」とする

※ MICE:ミーティング(会議)インセンティブ(研修)コンベンション(大規模集会)エキシビジョン(展示会イベント等)を行うことができる集客交流施設の総称

5000人超規模の多目的大ホールを「核」とした「複合施設」

スポーツと文化の憩いの場

（仮称）『モリナーナ』



